

事務事業名	林道災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)																	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G																		
	施策名	〈35〉林業の振興		担当者名	高木 洋輔																		
	目的・対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。																			
	基本事業	〈101〉適正な森林管理		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474																		
目的・対象	市内の森林	意図	適正に管理する。			予算科目	<table border="1"> <tr> <td>会計</td> <td>款</td> <td>大事業</td> <td>大事業名</td> </tr> <tr> <td>0:1</td> <td>5:5</td> <td>0:1</td> <td>林道災害復旧事業</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>目</td> <td>中事業</td> <td>中事業名</td> </tr> <tr> <td>0:5</td> <td>2:0</td> <td></td> <td>01現年林道災害復旧事業 04令和3年過年林道災害復旧事業</td> </tr> </table>	会計	款	大事業	大事業名	0:1	5:5	0:1	林道災害復旧事業	項	目	中事業	中事業名	0:5	2:0		01現年林道災害復旧事業 04令和3年過年林道災害復旧事業
会計	款	大事業	大事業名																				
0:1	5:5	0:1	林道災害復旧事業																				
項	目	中事業	中事業名																				
0:5	2:0		01現年林道災害復旧事業 04令和3年過年林道災害復旧事業																				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊などの被災を受けた林道を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、24時間連続雨量80mm以上をクリアすること、また災害規模としては、被害額が40万円以上であることが必要となる。 基本補助率 奥地:65%、その他:50% 高率補助の適用あり(災害発生路線の既設延長等から算定) R3年度 激甚災害(33箇所):補助率 奥地:97.7%、その他:93.6%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
R3繰越 2路線5箇所(山尾谷線、八雲山線)→完了 R4現年 4路線16箇所(茂平山深谷線、民谷線、芦谷杉戸線、樫ノ木畑線)→R5へ繰越	特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 竣工箇所数(現年災)	箇所	1	0	0	未定
イ 竣工箇所数(過年災)	箇所	0	1	5	16
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
【R3繰越(R3災)】5箇所 工事費:17,296千円、事務費:200千円 計:17,496千円 【R4現年(R3災)】 工事費:6,850千円(民谷線前払金) 合計:24,346千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	7,229	22,438	22,599	192,199
		地方債	千円	2,600	21,500	1,400	11,700
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,174	13,303	347	3,601
事業費計		千円	11,003	57,241	24,346	207,500	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災林道の復旧により、林道の安全性と林道利用者の利便性の維持が図られた。R3災分については、R5年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、林道災以外にも農災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県等と連携し、円滑に事業進捗するよう努める。